

小麦づくり情報 4月号

村山総合支庁 農業技術普及課

出穂期は平年よりやや早い5月7日頃と見込まれます。
播種時期の違い等により圃場毎に生育差が見られますので、出穂状況をよく確認し、適期の防除と追肥を行いましょよう。

1 赤かび病防除は必ず実施！

赤かび病は出穂後の穂に感染し、多発すると収量と品質を低下させます。また、赤かび病菌の中には、人の健康を損なうデオキシニバレノール(DON)等の**かび毒**を産生します。

安全で安心な小麦生産のため、必ず防除を行いましょよう。

＜防除時期の目安＞
出穂期：全穂数の40～50%が出穂 5/7頃
↓約7日
開花期：全穂数の40～50%が開花 5/14頃
1回目防除
↓約7～10日
2回目防除 5/21～24頃
赤かび防除は適期散布が最も重要です！

防除時期	1回目：開花期	2回目：開花期の7～10日後
使用農薬 (いずれかを使用)	トップジンM水和剤、チルト乳剤25、シルバキュアフロアブル	

※耐性菌の出現を防ぐため、チルト乳剤25とシルバキュアフロアブルの連用は避けましょよう

2 追肥で小麦の品質・収量を高めましょよう！

強力粉として適正なタンパク質含有率(11.5～13.0%)を確保し、収量を高めるために行いましょよう。

①減数分裂期

出穂8～10日前の葉耳間長0cmの時期に2kg/10a(窒素成分)を施用しましょよう。

②穂揃期

圃場の80%の穂が出た時期に草丈が90cm以下かつ止葉の葉色がSPAD値44以下の場合、2kg/10a(窒素成分)を施用しましょよう。

*倒伏しやすいので、生育診断を行ってから実施しましょよう。

春季農作業事故防止啓発運動 展開中 4月10日～6月10日

小麦だけでなく、水稻や野菜・果樹など次々と管理作業が続く忙しい時期です。例年、この時期に農作業事故が多発しています。農作業は計画的に、ゆとりをもって、安全第一で行いましょよう。

日頃からの作業安全を意識して、農作業事故を防止しましょよう！

